

不具合事例		整理番号 C-01-014	
タイトル	地下ピットでの土壌採取孔から地下水が湧いてきた！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図			
作業内容	地下ピット底面における試料採取		
使用機器	コアカッター、ダブルスコップ、ハンドオーガー		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 地下ピット底面での作業において、コアカッターにより底面部分のコンクリート（φ200mm）を削孔したら、採取孔から地下水が湧出したため、調査困難と判断し試料採取地点を地下ピット近傍に変更した。¹⁾ 			
予防措置(計画者、監督者、作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 調査対象地の地下水位について、事前に情報を収集しておく。(計画者、監督者) 地下水の湧出により調査が困難になることを考慮して試料採取地点を設定する。(計画者、監督者、作業員) 試料採取前に止水フランジの設置を計画する。(計画者) 区画全面が地下ピットの場合、ドリル等で試掘を行って湧水が確認されたらピット上から掘削する計画とする。(計画者) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 監督者に報告し、現状の地下ピットの使用状況及び推定される地下水位を考慮し、試料採取地点の変更等を含め適切な調査方法を関係者間で協議する。(監督者、作業員) 湧出した地下水は、ドラム缶等に貯めた後、適切に処理をして汚染の拡散を防止する。(監督者、作業員) 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 地下ピット内で作業する際は、地下水の湧出を伴う作業を想定した機材（水中ポンプ等）及び採取孔の復旧資材（急結モルタル等）を事前に用意する。 事前の情報収集の結果、地下水が湧出する危険性が高い場合には、試料採取作業前に、復旧しやすい径の細いドリルで試し削孔をして、地下水の湧出状況を確認してから作業を行う。 地下ピットでの作業であり、計画段階から酸素欠乏にも配慮する必要がある。 			
関連法規等、出典	・1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第3.1版 Appendix-8_3		
キーワード	土壌汚染状況調査、表層土壌調査、地下ピット、地下水位		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル	地下ピットでの土壌採取孔から地下水が湧いてきた！		
説明図			
作業内容	地下ピット底面における試料採取		
指示事項	<ul style="list-style-type: none">・ 監督者は地下水位の情報を入手しておく。・ 地下水の湧出を伴う作業を想定して水中ポンプや採取孔の復旧資材（急結モルタル）を事前に用意しておく。 <p>【その他の留意事項】 地下ピットでの作業であり、酸素欠乏にも配慮して調査を実施する必要がある。</p>		
どんな不具合が起こりうるか？			
だから私たちはこうします			
本日の重点施策	ヨシ!!		
サイン			